

平成29年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見												参加者の意見	予算	方向性	事業全体の方向性	考え方	予算案の方向性	
		一般区民の意見																		
		モニター(認知度)		モニター(方向性)				つなげ隊(参考)		つなげ隊(方向性)										満足度等
知っている	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	知っている	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小									
「みんなの『思い』が区政に反映されているまち」に向けて																				
1	区政会議運営														90%	219	⇒	区政会議の運営については、貴重な意見聴取・交換の場であることから継続する。予算案については、実績に合わせ事務経費を削減。	—	
2	区民モニター														—	1,679	⇒	区民モニター制度は、多様な区民の意見やニーズを的確かつ着実に把握するものであり、区の施策・事業に反映させるために必要であることから、継続する。予算案については、実績に合わせ事務経費を削減。	—	
3	あなたの声をつなげ隊														—	97	⇒	区役所に意見要望を寄せる機会のない区民(サイレント・マジョリティ)と直接対話し、表面化しにくい多様な区民の意見やニーズを的確かつ着実に把握するものであり、区の施策・事業に反映させるために必要なことから、継続する。意見聴取時に、区の事業の説明を行い、広報役としての役割も努める。	—	
4	区広報紙の発行														—	14,135	⇒	事業認知度が高く、リニューアル後、肯定的な意見が多く寄せられている状況である。広報媒体として必要であるため、継続する。新聞未購読世帯を対象とした個別配送が年々増加していることから、平成30年度(8月号を予定)に広報紙の全戸配布を試行的に実施し、新聞未購読世帯に配達申込みを促すことで、広報紙の購読促進を図る。	↗	
5	広報板等その他の広報														—	676	⇒	(広報板) 掲出内容の認知、関心の程度に関わらず、区民に直接訴求できる重要な広報手段の一つであり、デザイン等工夫に努めつつ継続する。 (区HP、SNSを活用した情報発信等) ホームページやSNSなど複数の広報ツールを併用することが有効であるため、継続する。29年度より運用を開始したLINEを活用し、より効果的な情報発信に努める。	—	
6	職員研修														79%	351	⇒	・職員が地域の特性や住民ニーズに対応した施策を自ら企画し、実施する力を養い、発揮する必要があるため、継続する。 ・来庁者等が快適に利用いただくため、窓口サービスと利便性の向上が必要であり、継続する。予算案については、実績値採用による減。	—	
「未来を担う人材が育成されているまち ～日本一の文教『都市』の実現～」に向けて																				
7	グローバル人材育成事業 (中学生英対話講座・小学生英語体験活動)	15%	82%	29%	47%	76%	9%								83%	3,000	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」60%以上であるが、区政会議で事業費の精査を求める意見もあり、事業費を見直すとともに、小学生など区民参加希望者が参加しやすい事業へと改善する。	↘	
8	イノベーション人材育成事業 (職業講話・インターンシップ・中学生キャリア教育)	19%	79%	25%	54%	79%	7%								89%	624	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が60%以上であるが、区内青少年の参加につなげるため、公立中学校キャリア教育支援を中心とした取組として再構築する。	↘	
9	天王寺区ジュニアクラブ	22%	75%	25%	56%	81%	5%								100%	325	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果は肯定的意見が60%以上であり、将来の地域の担い手育成は長い視点で実施していく必要があるため、継続する。	—	
10	成人の日記念のつどい														—	216	⇒	成人の日記念のつどいは、青少年指導員や地域の方々の協力を得て、多くの新成人の参加のもと実施してきている。地域とともに地域の子どもたちを新成人として送り出す節目であることから、継続する。	—	
11	青少年指導員活動														—	697	⇒	地域社会と密接した活動を行っている青少年指導員との連携により、青少年の健全育成と非行の防止のために、継続する。予算案は、活動のサポートを充実させるための事務委託料の増を見込む。	↗	
12	こどもの居場所等における学び・生活サポート事業														—		新規	新規の公設置が困難な「子どもの居場所」について、民間(居場所設置者)の協力を引き出しながら子どもを支援する仕組みを構築する。	↑	
13	子育てスタート応援事業	27%	70%	26%	54%	80%	6%								92%	13,171	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」が60%に達しており、利用者アンケートでも、応援券の有効だと感じる対象者も多いことから、次年度も継続して事業に取り組む。予算案は、長期継続契約による委託料の減、これまでの利用実績を勘案した交付金の減を見込む。	↘	
14	子育て情報アプリ「ぎゅっと！」	20%	77%	17%	57%	74%	9%								94%	1,181	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」が60%を上回っており、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、アプリの継続した利用促進に向け、掲載内容の充実に取り組む。予算案は、チラシ印刷費の増を見込む。	↗	
15	子育て情報博覧会事業	13%	84%	19%	60%	79%	4%								91%	129	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は79%、参加者の満足度は90%を超え、情報収集の場として活用できていることから次年度も継続して事業に取り組む。	—	
16	子育て支援室相談事業 【子育てナビゲーション(子育て情報誌等)】							81%	19%							—	998	⇒	ワンストップ窓口としての子育て支援室については、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、子育て相談や情報提供の充実など養育者を支援するため、継続する。保育コンシェルジュを充実し、地域での出張相談の機会を増やすとともに、子育て支援に関する情報を提供する。	—
17	子育て愛あいフェスティバル	26%	70%	17%	60%	77%	7%								87%	178	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が77%、参加者(保護者)アンケートによる「満足度」では、肯定的意見が86.7%と高いため、継続する。	—	
18	乳幼児発達相談体制強化事業	23%	74%	21%	63%	84%	2%								—	2,642	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は60%に達しており、専門的な相談員による早期発見及び支援は重要であるため、継続する。	—	
19	発達障がいサポート事業	21%	76%	22%	61%	83%	3%								—	2,872	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は60%を超えており、学校側からの発達障がい者生徒への支援要請が多いため、継続する。予算案は、特別支援教育サポーターの賃金改定による増を見込む。	↗	
「『命を守る政策』がしっかりと進められているまち」に向けて																				
20	独居高齢者等見守りサポーター事業	40%	59%	27%	60%	87%	4%	43%	57%	29%	69%	98%	2%	—	5,221	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が87%であり、あなたの声をつなげ隊の意見聴取でも継続を望む声が多く、また利用者の安心につながる事業であるため、継続する。	—		
21	高齢者福祉月間事業														—	12	⇒	「老人の日記念百歳高齢者に対する、お祝い状及び記念品贈呈要綱」に基づき、内閣総理大臣からの祝い状等の伝達依頼があるため、継続する。	—	
22	地域福祉アクションプラン推進支援事業														—	92	⇒	独居高齢者の孤独死、児童虐待、障がい者の社会参加について地域の代表者・福祉施設・障がい者施設・学校関係者が一緒に問題解決に向けて実践するための場としてサポートが必要であるため、継続する。第5期地域福祉アクションプランの策定に向け、各種班会議、研修会等を充実する。	↗	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)
 ①一について・・・区独自シリング(Δ1%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)は必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
 ②下向き矢印・・・予算減について適用(Δ1.1%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
 ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

平成29年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見												参加者の意見	予算	事業全体の方向性		予算案の方向性
		一般区民の意見											満足度等			方向性	考え方	
		モニター(認知度)		モニター(方向性)			つなげ隊(参考)		つなげ隊(方向性)									
知っている	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	知っている	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小							
23	下寺町地域の交通手段確保事業	67%	33%	15%	66%	81%	9%							—	4,036	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上であり、勾配が大きいなどの地域特性に鑑み、真に必要な福祉的な交通手段を確保するため、継続が必要。	—
24	歯の健康展													99%	46	⇒	参加者の満足度が高く、歯の健康の保持・維持に役立つと評価されている。また、健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であるため、継続する。	—
25	みんなの健康展													95%	57	⇒	参加者の満足度が高く、健康の保持・維持に役立つと評価されている。また、健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であるため、継続する。	—
26	「いきいき百歳体操」拠点立ち上げ支援事業													—	86	✕	ももてん体操に加え、つなげ隊の聴取で要望のあった介護予防効果が実証されている「いきいき百歳体操」の拠点づくりを29年度に実施。本事業は29年度単年度事業。30年度は保健師活動の一環として「出前講座」で引き続き啓発・普及を行う。	↓
27	がん検診周知事業（広報紙での周知等）	73%	26%	19%	68%	87%	5%	67%	33%	23%	73%	96%	4%	—	332	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は87%である。我が国の死因別割合第一位はがんであるが、がん検診受診の啓発・周知は、早期発見・治療に繋がり、ひいては医療費の削減ならびに健康寿命の延伸に貢献することから、引き続き周知の強化を図る。	—
地域の力を結集した「防災力」向上の取組																		
28	防災出前講座													95%	619	⇒	出前講座受講者アンケートでも95%が「今後に活かせる」と回答しており、受講者から「もっと広めてほしい」、「皆が知る必要がある」といった意見がある。多くの方に受講していただくことが災害対策情報の周知・啓発に資するため、継続。	—
29	災害対策情報発信（広報紙での発信）													—	232	⇒	災害対策情報のさらなる周知を図るため、広報紙（8月特集号）の配付方法を新聞折込から個別配付に変更し、広く区民への啓発を図る。	↗
30	家具転倒防止器具取付啓発事業													—	108	⇒	自助の備えとして有効といわれる家具転倒対策について、区民モニター調査（28年度）による対策実施率が低く（48.2%）、引き続き区民全体に向け啓発する必要があるため、継続。	—
31	地域資源との新たなつながりを活かした防災事業	20%	78%	20%	59%	79%	5%	20%	80%	18%	77%	95%	2%	100%	1,853	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%に達しており、かつ、地震への備えが急務であるため、区内マンションにおける防災対策を集中的に進めるために専門知識を有する人材を任用し、マンション内の「自主防災組織」の構築に向けた取組をスピード感を持って進める。	↗
32	災害時避難所整備事業	35%	61%	28%	53%	81%	2%	44%	56%	22%	75%	97%	1%	—	1,275	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上であり、区民の声に応え、大規模災害発生に備えて備蓄物資を充実させることは、安全安心のまちづくりに資することとなることから、継続。	—
33	地域別防災計画の作成支援について	32%	62%											—	681	✕	平成29年度中に、全地域において地域別防災計画の作成が完了するため、事業終了。	↓
34	災害時避難所開設・運営訓練													—	90	⇒	自主的な防災訓練の実施を地域防災計画へ反映することで、災害発生時の即応体制の整備に通じるため、自助・共助の取組の一環として、継続する。	—
35	地域防災リーダー育成	19%	78%	22%	55%	77%	5%	17%	83%	24%	71%	95%	1%	91%	225	⇒	地域での自助・共助活動の担い手として災害救助青年部（防災リーダー）の知識習得や訓練が必要であるため、事業は継続する。予算案は、30年度は防災リーダーの改選年にあたり、装備品にかかる費用の増加を見込む。	↗
36	職員訓練													—	51	⇒	職員の資質の向上を図ることは、市民の生命・財産を守るためにも有効と考えられるため、継続する。	—
子どもの安全安心を守り、誰もが安全で安心に暮らせるまちづくり																		
37	子ども安全指導員													—	2,657	✕	これまで子ども安全指導員は警察08が担当していたが、小学校周辺や通学路を中心に子ども安全見守り防犯カメラを平成29年度末までに累計100台（各小学校10台・犯罪多発地域20台）設置見込みであり、犯罪防止や警備に関する専門的なノウハウは地域安全パトロール隊が継承し、これまでどおり子どもの安全安心を確保するために取り組む。	↓
38	子どもの防犯に向けたまちづくり事業	49%	49%	48%	40%	88%	1%	46%	54%	38%	59%	97%	1%	100%	4,132	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が60%以上であり、防犯カメラの設置については、区民から更なる増設を望む声が多く、犯罪の抑止に効果があると考えられる。29年度末時点で累計100台に達する見込みであり、費用対効果を検証しつつ、街頭犯罪対策も念頭に防犯カメラの設置を進める。	↘
39	交通安全啓発事業	51%	46%	37%	46%	83%	5%							78%	312	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は「拡大」+「継続」が60%以上であり、つなげ隊の意見聴取で、「自転車マナーの向上」に向けた取組に関する要望が多い。引き続き、警察署と連携した自転車マナー向上策に取組むこととする。予算案については、啓発チラシの作成減を見込む。	↘
40	地域安全パトロール事業	68%	29%	35%	53%	88%	2%	68%	32%	20%	77%	97%	2%	100%	504	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上であり、参加者（利用者）アンケートによる「満足度」調査結果の肯定的意見が60%以上のため、継続。引き続き、地域・警察署と連携した街頭犯罪の抑止、子どもの安全・見守り活動を実施する。	—
41	自転車利用適正化事業	51%	46%	37%	46%	83%	5%	39%	61%	30%	66%	96%	2%	—	3,691	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上であり、駅周辺の放置自転車は、通行や災害時の救助活動の妨げとなることから、引き続き、地域・関係局と協働して啓発活動に取り組む。	—
42	空家等対策推進事業													—	64	⇒	特定空家等の是正に向けた取組みを行い、防犯・防災の観点から課題を検証するとともに、地域の活性化につなげる。	—
「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」に向けて																		
43	天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業	29%	69%	14%	64%	78%	8%	47%	53%	14%	81%	95%	2%	96%	601	⇒	・区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上となっており、当区の歴史・文化の魅力をまとめた「上町台地周遊マップ」は、「熊野街道を散策するのに役に立った」といったご意見も多く有効であることから継続。 ・熊野街道など、歴史ウォークを開催し、周辺区との連携による取り組みを拡大して、天王寺区の歴史文化の魅力を発信する取組を推進する。	—

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの（対前年度）
 ①について・・・区独自シーリング（△1%以下）までの削減、当然増減（計画的なもの、予算移管など）は必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
 ②下向き矢印・・・予算減について適用（△1.1%以上）。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
 ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

平成29年度 天王寺区事業評価シート

番号	事業名	区民の意見													参加者の意見	H29予算(事業費)	事業全体の方向性		予算案の方向性
		一般区民の意見															方向性	考え方	
		モニター(認知度)		モニター(方向性)				つなげ隊(参考)		つなげ隊(方向性)				満足度等					
知っている	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	知っている	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	満足度等							
44	吹奏楽フェスティバル	35%	63%	8%	69%	77%	9%	40%	60%	5%	90%	95%	2%	90%	783	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は60%以上に達しており、来場者アンケートでは、80%以上の方が今後も開催を希望していることから継続。	—	
「つながりあい、支え合い、助け合うまち」に向けて																			
45	地域活動協議会への財政的支援	39%	59%	14%	62%	76%	11%	50%	50%	13%	82%	95%	2%	90%	16,252	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は76%となっており、地域活動協議会の活動を支援することで、身近な地域課題への対応、自律的な地域のまちづくりの推進が期待できることから、継続する。	—	
46	新たな地域コミュニティ支援事業 (中間支援組織の運営)													81%	13,579	⇒	・地域活動協議会の自律的運営に向け、書類作成や会計処理などの様々な事務、認知度の向上や新たな担い手の獲得につながる広報の支援など、現段階では、中間支援組織による丁寧な支援が、必要不可欠である。 ・また、地域活動協議会役員へのアンケートでは、約6割が中間支援組織の支援が役立っていると回答されていることから、継続して取り組む。	—	
47	区民まつり	79%	19%					92%	8%					73%	5,008	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が70%以上のため、継続する。	—	
48	区民文化のつどい	35%	61%					33%	67%					76%	484	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が70%以上のため、継続する。	—	
49	区民コンサート	42%	55%	10%	66%	76%	8%	35%	65%	13%	84%	97%	2%	93%	548	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が90%以上のため、継続する。	—	
50	スポーツフェスタ	34%	62%					34%	66%					68%	397	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。	—	
51	子ども育成を通じたコミュニティ振興	15%	80%					29%	71%					68%	781	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。	—	
52	区民ギャラリー運営													—	23	⇒	団体等に発表の場を提供することで、制作意欲の向上や新規加入者の獲得も見込まれ、区民が参加する文化・芸術活動の促進にもつながるため、継続する。	—	
53	緑化講習会													—	429	⇒	・区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%に達しており、参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果の肯定的意見が60%以上のため、継続。 ・緑化ボランティア育成講習受講者が花のボランティアグループに加入されるなど、新たな担い手の確保にもつながっている。	—	
54	種から育てる地域の花づくり事業	47%	51%	20%	60%	80%	9%	43%	57%	10%	87%	97%	1%	70%	288	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」は60%に達しており、自分たちの手で種から花を育て、その花を地域の皆さんの目に触れる場所に植えることを通じて、事業目的である花と緑あふれる美しいまちづくりに貢献していることから、事業を継続。予算案については、取り組みをPRするプレート設置による増を見込む。	↗	
55	校庭等の芝生化事業													—	309	⇒	地域での維持管理を行う必要があるため、継続する。	—	
56	天王寺区地域公園 協働パートナー事業													—	1,815	⇒	地域コミュニティの推進と、公園の安定的な維持管理を両立するため、継続する。30年度より国分公園も対象となり、区内5公園で実施する。	↗	
57	生涯学習推進事業	49%	50%	17%	65%	82%	7%	54%	46%	7%	88%	95%	2%	99%	1,057	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上であること、また、生涯にわたっての学習に加え、学びを通じた地域のコミュニティづくりに貢献するため、継続する。	—	
58	P T A ・社会教育関係団体対象学習会助成													—	31	⇒	生涯学習として、学びを通じた地域のコミュニティづくりに貢献するため、継続する。	—	
59	学校体育施設開放事業	42%	56%	17%	64%	81%	5%	49%	51%	7%	88%	95%	2%	—	1,635	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果の「拡大」+「継続」が60%以上であり、学校教育に支障のない範囲で学校施設を十分に活用されており、本事業を通じてスポーツを行う機会を提供できているため、継続する。	—	
60	人権啓発推進事業													—	50	⇒	平成21年2月に「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」が策定され、本市として、さまざまな取組みを継続的かつ体系的に推進する必要があるため、継続する。	—	
施設の管理運営、事務経費等																			
61	区庁舎設備維持点検費													77%	22,886	⇒	・来庁者及び職員が、区役所庁舎を安心・安全・快適に利用できるようにするのは、行政の基本的責務である。 ・来庁者の満足度は年々高くなってきているが、さらに高めるよう、取組みを行う。	—	
62	区庁舎光熱水費													—	21,292	⇒	・区庁舎の快適性を維持する必要があるため、継続する。なお、LED化の推進等に取り組み、経費の節減に努める。 ・30年度に環境局の基金を活用し、全面的にLED化を図る方向で調整を進めている。	↘	
63	区民センター管理運営													95%	41,332	⇒	区民活動の拠点として活発に利用(利用率72.4%)され、利用者の満足度も80%以上となっており、コミュニティ活動の振興などにもつながっている施設であることから、引き続き指定管理者による運営を行う。予算案については、29年度予算に計上したトイレの全面リニューアル工事経費の減。	↘	
64	庁舎管理及び運営経費													77%	81,353	⇒	区役所業務を適切に維持・運営していくために物品調達等を行う必要があるが、できるだけ安価に調達するなど、節減に努める。	—	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)
 ①—について・・・区独自シーリング(Δ1%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)は必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
 ②下向き矢印・・・予算減について適用(Δ1.1%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
 ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。